

令和5年度第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立大砂土東小学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和5年11月27日(月) 10:00～12:00
[場所] 第一会議室

- 2 出席 委員長 山田 和幸 (堀崎町自治会長)
委 員 大河戸 千鶴子 (大砂土東地区自治会連合会 顧問)
畑中 俊一 (大和田町自治会長)
高島 友行 (交通指導員)
武藤 博昭 (学校法人梅の木学園 福寿幼稚園 理事長)
岩井 由起子 (大砂土東公民館 館長)
上続 昌司 (大砂土中学校 校長)
佐野 大 (大砂土東小学校 P T A 会長)
酒井 景子 (大砂土東小学校 P T A 副会長)
武田 泰之 (大砂土東小学校長)
林 和寛 (大砂土東小学校教頭)
西川 和利 (学校地域連携コーディネーター)

- 欠席 副委員長 中浜 邦夫 (東大宮自治会長)
委 員 山岸 利恵 (大砂土東地区民生委員・児童委員)
岡本 清夫 (大和田銀座商店会 会長)

3 次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 2学期の学校運営について
- (4) いじめ対策委員会 (生徒指導主任より)
- 休憩
- (5) 学校評価について
- (6) 熟議
- (7) 諸連絡
- (8) 閉会

4 議事概要

(1) 2学期の学校運営について

① 校長より 学校運営について説明

② 委員より

○持久走記録会の中止について

○トイレ用スリッパ使用の廃止について

(2) いじめ防止委員会

・児童代表委員、生徒指導主任からいじめ防止に向けた取組について説明

・委員より質疑応答

(3) 熟議

議題：「豊かな感性や人間性をはぐくむ教育について」

～明るいまいさつ・元気な返事の徹底の具現化に向けて～

グループ1（山田委員、大河戸委員、岩井委員、佐野委員、武田委員、西川委員）

<主な意見>

- ・とことん笑顔で、まいさつしやすい雰囲気を出す。
- ・登下校時に、保護者がランダムにいろいろな場所で見守りしており、各場所
で挨拶が交わされていた。
- ・校長先生が登校時に立っていると、元気よく挨拶をしてくれる。
- ・大きな声で大人がまいさつをする。
- ・一番言いやすい「おはようございます」という声掛けを大人が朝から実践し
ていく。
- ・挨拶がしやすくなるように、地域の子供たちと顔見知りとなっていく。
- ・低学年の子供に積極的にまいさつをしていく
- ・中学校ではまいさつ週間を生徒会役員が中心となって取り組んでいる。ま
た、PTA活動としても一緒に参加してもらっている。
- ・家庭で、「おはようございます」「さようなら」の声掛けだけでなく「行っ
てらっしゃい」「おかえりなさい」という声掛けをしていく
- ・防犯の取組として、まいさつをしている。
- ・PTA主催のバザー・祭りで、「ありがとうございました」と言える児童を
学年問わず見かけた。参加団体からも同様の声があがった。
- ・校舎内ですれ違う児童から挨拶される回数が目に見えて増えた。

グループ2（畑中委員、岡本委員、酒井委員、上統委員、林委員）

<主な意見>

- ・登下校時に、まいさつできている班やできている児童に対して、その場で
褒めた
- ・接する大人がまず声をかけることが大事である。
- ・地域などのイベント会場等で、大人から声をかけていく。

- ・挨拶をいうのはまず家庭。PTAからも伝えていくとよい。
- ・高学年（５・６年生）が明るくあいさつできる児童が多い。低学年のお手本になる。
- ・学校帰りに子供からあいさつする子が多くなった。
- ・学年があがるごとに自信がついてきていると思う。
- ・通学路に立っていると、子供たちから声をかけられる。
- ・公民館のトイレを利用するときに「トイレを借ります」と大きな声で言えるようになってきた。また、ロビーを使用するときに、「こんにちは」「ありがとうございました。」と大きな声で言ってもらえるようになってきた。
- ・児童も誰にでも挨拶してよいものでもない。相手を見て挨拶をした方がよい。

上記意見を受け、熟議で出された内容を、学校運営協議会委員自身が行き組むとともに、家庭、地域、学校でさらに広めていく。

（４）事務連絡

- ・特になし

５ 今後の方向性

- ・あいさつに関する児童の取組を運営協議会で報告する。
- ・家庭、地域、学校で本日の熟議の内容を広め、挨拶の取組について考える。

６ 次回開催予定〔日時〕 令和６年２月１９日（月）１０：００～１２：００ 〔場所〕 第１会議室